

Step 2 「学んだことを生かしている姿」の設定

「学んだことを生かしている姿」を具体的に考えていきます。

児童生徒が、単元(題材)で学んだことをどのように生かしていくのか、「どこで(場)」「誰と(人)」「何を使って(もの)」「何をするのか」を考えます。その際に「場・人・ものマトリックス」を参考にすることができます。「何をするのか」は、各教科の目標及び内容に基づき記入します。必ずしも、【場・人・もの】を全て記入する必要はありません。

各教科の目標
及び内容
(職業・家庭)



(例)

「目的に応じた店で(場) 支援者と(人) エコバックを持って(もの) 買物をする。」

Step 2 「学んだことを生かしている姿」の設定

【学んだことを生かしている姿】を具体的に考え記入しましょう。一緒に【場・人・もの】も考えます。その際、「場・人・ものマトリックス」が参考になります。

【指導の形態】	【単元(題材)名】	【時期】
【指導の期間】	【学年・学年・学期】	
氏名 【自習・自習・自習・自習・自習】 【自習・自習・自習・自習・自習】	【学んだことを生かしている姿】	【場・人・もの】
目標に設定		【学習活動】 【指導内容・方法】
集団で設定	【主な学習活動】(自習内容・方法)	【指導時期】 【時期】

氏名	【学んだことを生かしている姿】	【場・人・もの】
A 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた店で、家族(支援者)と買物する。 商品やお釣の受け渡しができる。 店員と簡単なやり取りをする。 エコバックを持参して買物をする。 	場:目的に応じた店 人:店員,家族,支援者,友達 もの:紙幣・硬貨,財布,かご,レシート,エコバック